

事務事業名 電話・移送サービス事業

区分	No	名称					
章	1	やさしさと共生するまち					
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる					
施策	2	高齢者福祉の確立					
小分類	2	高齢者福祉の充実					
主要な施策	2	ひとり暮らし老人の支援					
事務事業番号	002	事業開始年度	平成 5 年度	事業終了年度	平成 - 年度	会計種別	一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護グループ
-----	-------	-------	-----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	一人暮らし高齢者等の日常生活の不安解消や、外出を支援することにより、福祉の向上を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	一人暮らし高齢者等に対し、電話により安否確認や日常生活の不安解消を行った（電話サービス）。老人福祉センター利用者が乗車する送迎用バスに、介助員を添乗させる外出支援を行った（移送サービス）。 【事業実績】 電話サービス：800回 移送サービス：2,357人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	事業を継続し、一人暮らし高齢者等の日常生活の不安解消や、外出支援を行い、福祉の向上を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市ひとり暮らし老人等電話サービス事業実施要綱 登別市移送サービス実施要領

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	934	934	952	952	952
事業費 合計			934	934	952	952	952

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	電話サービス利用回数	回	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	789	800			
	バス送迎利用者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,750	2,357			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
一人暮らし高齢者等が孤独感や日常生活に不安を感じていたり、外出の機会が減少したりしていた。	孤独感や日常生活の不安感の解消が図れたほか、外出の機会の減少を防げた。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
<b>1. 事務事業の妥当性について</b>		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市が運行する福祉バス利用者に対するサービスであるため（移送サービス）。民間で行う可能性が低い（電話サービス）。
	民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
<b>2. 事務事業の必要性について</b>		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 高齢者の外出支援を行うことにより、自立生活の維持ができるほか、孤独感や日常生活の不安感の解消、安否確認ができるため、必要な事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
<b>3. 事務事業の効率性について</b>		
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 委託することにより、低予算、少労力で事業が実施できている。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
<b>4. 事務事業の成果について</b>		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 孤独感や日常生活の不安感の解消が図れたほか、外出の機会の減少を防げた。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価		《Check》
<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	在宅高齢者の外出支援を行うことにより、自立した生活の維持が図られている（移送サービス） 電話により、孤独感や日常生活の不安感の解消や、安否確認が行えている。

行政評価会議による評価		《Check》
<b>廃止</b>	備考	電話サービスは、必要に応じて他の見守り事業へ移行・統合するなど、効率的な実施を検討すること。 また、移送サービスは、バス利用者の共助等の方法により補完することとして整理すること。